コジュケイの異常距に就いて

On an abnormal spur in Chinese Bamboo Pheasant.

白井 邦彦

Kunihiko Shirai

鶉鷄目 Galli 鳥類からは、屢々距の異常な個体が発見されるものであるが、筆者は、コジュケイ *Bambusicola t. thoracica* (Temminck) にも、異常距のあることを承知したので、茲に報告する。

附図に示すように、これは距が両脚に夫々2個宛存在する二重距である。即ち正常距に接してその上部に、更に一個の異常距が発生しているのである。距の大きさは下表に之を示す。(単位 mm)

この個体は、コジュケイ属 *Bambusicola* の二重距として最初の標本と思われる。本個体の羽色は正常であり、距が2個宛存在する以外は正常である。然して解剖的所見も、生殖器官その他に就いて、何等の異状は見られなかつた。

次に、この個体が捕獲された状況を附記すると、次の通りである。

I 捕獲地 山梨県北都留郡上野原町字石舟

II 捕獲者 同県同郡同町字大越路；水越隆平氏

		正 常 距	異 常 距
外	側	7.5	4.5
内	側	8.5	5.5

III 捕獲期日と天候 昭和 26 年 (1951) 2 月 26 日午後 4 時；午前中約 60 mm の降雪があり、午後は曇天が続いていた。

IV 捕獲法 ウキリアム・エヴァンス 20 番 2 連散弾銃にウエスタン・スーパー X 2 3/4 インチ薬夾 8 号装弾を用い、猟犬に追出させて射撃した。

V 捕獲地の環境 山梨県北都留郡上野原町から同町字奈須部を経て、神奈川県津久井郡佐野川村方面へ通ずる小径を辿ると、小川(後山川という)があり、これに木橋(後川橋という)が架設されている。この橋の上流約 300m の地点が捕獲地である。現場の環境は、右岸が水田でその周囲に約 20m 位の篠藪が存在し、左岸は篠の混じた雑木林の傾斜地(約 40° 位)となつている。傾斜地の上方は広い麦畠が転開している。

VI 本個体所属群の員数 捕獲せられた個体の所属する群の個員は、昭和 25 (1950) 年 11 月には 12~3 羽の員数を数えていたが、次第に減数して当日は 6 羽となつていた。

摺筆に当り、本個体を恵贈せられた水越隆平氏と、挿図を画いていただいた三島冬嗣氏とに感謝する。

Résumé

An example of double spurred *Bambusicola thoracica thoracica* (Temminck), shot at Uenohara-machi, Yamanashi, Prefecture, February 26, 1951, is reported.

This may be the first case in this genus.